



2024年度 第3号
6月26日(水)
発行:名寄高校進路指導部

☆何のための模試？

☆ 1・2年生の皆さんへ

7月27日(土)に進研模試が行なわれます。進研模試は各学年で全国約40万人の高校生が受ける模擬試験で、この人数はほぼ「大学入試センター試験」の現役生の受験人数に匹敵します。名寄高校では1年生と2年生の普通科は全員受験となります。この「模試」とは何か、先日行われた中間考査との違いについてまとめてみました。

	定期考査	模試
目的	ある一定の期間に授業でやったことをどこまで理解しているかを見る。→学校の成績(5段階評定)を出すときに使う	今まで習ったことをどこまで定着していて、どこまで応用できるかを見る。→志望校への合格可能性を見るときに使う
対象	ある学校の同一学年の生徒	全国の高校生。模試の種類によっては、特定の大学を志望する生徒のみを対象としたものもある。
難易度	きわめて基本的な問題が中心、たまに応用問題が出る程度。平均点は一応60点程度になることを目指して作成されている。	模試にもよるが、 標準から応用問題が普通に出題される 。応用問題しか出題されない模試もある。 平均点は記述式の場合では3割前後

このように、定期考査と模試ではその意味合いが全然違うことがわかります。模試の最大の目的は、「**模試を受けた時点での自分の全国的な位置を把握すること**」です。そして、「**自分の弱点を知ること**」です。

模試は、出てきた結果(点数や偏差値)だけを見て一喜一憂するものではありません。模試を最大限に活用するためには「事前準備」と「振り返り」です。受験前は、模試に向けて立てた目標点をふまえて学習計画を作り、教科書や問題集などで模試に向けた準備をします。受験時はすぐに答え合わせができるよう、**問題用紙に自分の答えをメモしておく**ことが大切です。

復習するときは、土日や夏休みを上手に利用しましょう(3年間使うので、問題と解答は捨てずにきちんと保管すること)。**復習で大事な**のは、解けなかった問題を単に解き直すのではなく、**解けなかった原因を明確**にし、場合によっては**教科書に立ち返って抜けや漏れをつぶしていく**ことです。この繰り返し「いざ進路!」というときに**必要な基礎学力を身に付ける**ことにつながるのです。

☆ 3年生の皆さんへ

3年生にもなると、自分の希望進路に合わせて模試を受験していることと思います。そこでは志望校判定というアルファベット 1 文字に落ち込んでいる人もいないのでしょうか。いくら模試の成績は受けた時点でのものだといっても、D や E 判定がずらりと並んでいる成績票を見れば、誰だっていい気分はしません。しかし、**うわべだけの数字だけを鵜呑みにして一喜一憂するものではありません。** 模試の点数（偏差値）や志望校判定だけしか見ないのは、まだ模試を全然活用していないといえます。受験料に見合うだけの効果を上げられるよう、徹底的に模試を利用しましょう。

3年生になると 1・2 年生のときと比べて、模試の個人成績表に載るデータの量が格段に増えます。ベネッセや河合塾の模試では、得点、偏差値、志望校判定、設問別成績のほかにも以下のデータも記載されます。

① 同じ大学を志望する受験生の中での度数分布と自分の位置

例えば、自分が C 判定ならば、B に近い C なのか、D に近い C なのかを読み取れます。

② マーク模試の場合はマークの読み取り状況

自己採点と実際の成績が一致していない場合は、消しゴムできちんと消したか、マークが薄くて読み取れないなどのマークミスも考えられます。

③ 同じ学力層や、第 1 志望校の一段階上の判定の層との設問別の成績比較

自分のライバルにあたる受験生との差がどこなのか分野別にわかります。**特に重点的に（優先的に）復習**しなければならない単元がわかります。

④ 第 1 志望校に合格した先輩の成績推移との差

今後の目標ラインが見えてきます。

⑤ 今年の共通テストの難易度に換算した得点

今年の共通テストだったらどの程度取れているかの予測です。皆さんが受ける共通テストは難しくなるのか易くなるのかはわかりませんので、来年の共通テストの予想得点ではありません。

⑥ 傾斜配点に換算した得点

志望校の傾斜配点に換算した得点に載っています。合格最低点の情報は HP などです。入手できますので、模試を**仮想入試に見立てて次の模試の目標**を考えることができます。

模試のやり直しも含めて、これらの情報もしっかり活用してください。